

平成 28 年度プリムラ利用状況 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

平成 28 年度プリムラ利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	20	19	22	20	18	20	20	20	19	18	20	22	238
補助	117	112	144	155	114	145	128	124	123	100	139	147	1548
自主	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	6
合計	117	112	144	155	114	145	128	125	125	101	141	147	1554

平成 29 年 3 月

3月の利用者数は147名で、これまでの月間最多記録132名を更新すると共に100名以上が14ヶ月連続で続いています。年齢別では1才児の31名(21%)、2才児の28名(16%)、5才児の23名(16%)でした。

疾患別では今月もインフルエンザは57名(45%)です。先月の64名から若干減少しました。A型が22名、B型が25名でした。次いで上気道炎と胃腸炎の40名(27%)でした。平成28年度の利用者合計は1,554名で開設以来最多となり、年間利用率も90%を超えています。上位5疾患は、上気道炎(40%)、;咽頭炎(15%)、;胃腸炎(13%)、;インフルエンザ(10%)、;喘息様気管支炎(4%)でした。

プリムラは平成16年4月に開設し、13年が過ぎました。4月から14年目になります。3月に嬉しい事がありました。第1回ベビー&バースフレンドリーアワードで、財団からベビー&バースフレンドリパーソン賞を頂きました。受賞は10の会社、5の町、上司2名、個人3名でした。受賞の経緯は病児保育室をご利用の男の子3人のお母様が朝日新聞のWARKOの募集をみて、推薦した結果でした。有難うございました。病児保育室を開設して以来、感謝の声、気持ちが伝わり、嬉しい事が多々ありました。これからもスタッフと共に、保護者の方が安心してお子様を預け、仕事に行けるように、子どもたちを暖かく、明るくプリムラに迎えていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

平成 29 年 2 月

2月の利用者数は141名で、これまでの月間最多記録138名を更新すると共に100名以上が13ヶ月連続で続いています。年齢別順位の1位は2才児の33名(23%)、2位は3才児の23名(16%)、3位は1才児の22名(15%)でした。

疾患別順位の1位はインフルエンザの64名(45%)で、先月の44名から更に増加しています。このうちA型が60名、B型が4名でした。2位は上気道炎の33名(23%)、3位は咽頭炎の15名(11%)でした。約90%が呼吸器系疾患でした。

3月3日はひな祭りですが、2月から製作活動を始めており、入口の壁面の飾りつけも行いました。こどもたちを毎日明るく迎えています。



#### 平成 29 年 1 月

1月の利用者数は101名で、これまでの月間最多記録95名を更新すると共に100名以上が12ヶ月連続で続いています。年齢別順位の1位は1才児と7才児の18名(18%)です。7才児18名のうち12名はインフルエンザで、その影響が顕著です。2位は3才児と4才児の16名(16%)でした。4才児16名のうち11名がインフルエンザでした。

疾患別順位の1位はインフルエンザの44名(42%)で、先月の2名から急増し、本格的な流行となりました。このうちA型が34名、B型が10名です。通常はA型の流行が終息してからB型が増えるのですが、今年は傾向が少し異なるようです。2位は上気道炎の28名(32%)、3位は咽頭炎の13名(13%)でした。約80%が呼吸器系疾患でした。

#### 平成 28 年 12 月

11月の利用者数は125名で、これまでの月間最多記録111名を更新すると共に100名以上が11ヶ月連続で続いています。年齢別順位の1位は1才児の39名(31%)です。2位は3才児の25名(20%)、3位は5才児の18名(14%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の53名(42%)、2位は胃腸炎の40名(32%)、3位は咽頭炎の17名(14%)で、11月と全く同じ順列でした。未だ2名ですが初めてインフルエンザ

に罹患した病児が入室しました。1月から本格的な流行が始まると予測されます。

プリムラでは毎年4つのテーマを掲げ、こども達と製作活動を行っています。これと併

行して室内の飾りつけもテーマに添ったものに変えています。毎年12月はクリスマスです。

入口の「プリムラ図書館」の上の壁面には職員手作りの壁紙を飾り、きれいなクリスマス

ツリーがこども達を温かく迎え入れます。



### 平成28年11月

11月の利用者数は125名で、これまでの月間最多記録97名を更新すると共に100名以上が10ヶ月連続で続いています。年齢別順位の1位は1才児の35名(28%)です。2位は2才児の21名(19%)、3位は3才児の19名(8%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の65名(52%)、2位は胃腸炎の35名(28%)、3位は咽頭

炎の11名(9%)でした。胃腸炎は嘔吐・下痢が伴う感染性胃腸炎で、先月は3位でしたが

今月は2位になり、利用者数も急増しました。東京都感染症情報センターの週報レポートによると、感染性胃腸炎は約1ヶ月前から流行が始まり、先週あたりでピークに達したよう

です。プリムラでも暫く流行が続きそうです。

## 平成 28 年 10 月

10 月の利用者数は 128 名で、これまでの月間最多記録 102 名を更新すると共に 100 名以上が 9 ヶ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 37 名 (29%) です。2 位は 3 才児の 24 名 (19%)、3 位は 2 才児の 22 名 (17%) でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 65 名 (51%)、2 位は咽頭炎の 34 名 (27%)、3 位は胃腸炎の 9 名 (7%) でした。RS ウイルス感染症の病児はゼロで、流行は終息しているようです。

## 平成 28 年 9 月

9 月の利用者数は 145 名で、これまでの月間最多記録 114 名を更新すると共に 100 名以上が 8 ヶ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 49 名 (33%) です。1 才児の 92% は呼吸器系疾患でした。2 位は 2 才児の 32 名 (22%)、3 位は 2 才児の 24 名 (17%) でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 74 名 (51%)、2 位は咽頭炎の 19 名 (13%)、3 位は RS ウイルス感染症の 15 名 (10%) でした。RS ウイルス感染症は全国的に患者が増えているようですが、プリムラでも増加傾向です。喘息様気管支炎、アデノウイルス感染症などを加えた呼吸器系疾患が全体の 91% を占めました。

## 平成 28 年 8 月

8 月の利用者数は 114 名で、これまでの月間最多記録 94 名を更新し 100 名以上が 7 ヶ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 59 名 (52%) で突出しています。1 才児の 93% は呼吸器系疾患でした。2 位は 2 才児の 16 名 (14%)、3 位は 0 才児の 15 名 (13%) でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 43 名 (38%)、2 位は咽頭炎の 20 名 (18%)、3 位は胃腸炎の 13 名 (11%) でした。RS ウイルス感染症及びヘルパンギーナも 10 名と多く、これらの呼吸器系疾患が全体の 82% を占めました。

## 平成 28 年 7 月

7 月の利用者数は 155 名で、これまでの月間最多記録 149 名を更新しました。4 ヶ月連続で月間記録も更新しています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 51 名 (33%) で 2 位は 2 才児の 32 名 (21%)、3 位は 3 才児の 24 名 (15%) でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の60名(39%)、2位は咽頭炎の36名(23%)、3位は胃腸炎の17名(11%)でした。4位にヘルパンギーナ(11名;7%)が入りましたが、大きな流行が懸念されています。

#### 平成28年6月

6月の利用者数は144名で6月の月間記録を更新しました。3ヶ月連続で月間記録を更新しています。年齢別順位の1位は1才児の59名(41%)で今月も突出しています。2位、3位は同数(18名)で3才児と0才児でした。低年齢にシフトしています。

疾患別順位の1位は上気道炎の80名(56%)で突出しています。このうち半数が1才児です。2位は咽頭炎の34名(24%)、3位は流行性耳下腺炎の7名(5%)でした。呼吸器系疾患が全体の約90%を占めます。

#### 平成28年5月

5月の利用者数は112名で5月の月間記録を更新しました。1月末から急増したインフルエンザは1名に減少し流行は終了しました。年齢別順位の1位は1才児の49名(44%)で突出しています。2位は5才児の14名(13%)、3位は6才児の11名(10%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の35名(31%)、2位は咽頭炎の18名(%)、3位は胃腸炎の14名(13%)でした。4位に流行性耳下腺炎(12名)が入りましたが学校伝染2種のため、隔離室の利用となりました。

#### 平成28年4月

4月の利用者数は117名で4月の月間記録を更新しました。1月末から急増したインフルエンザは減少していますが、なお利用者の約30%を占め流行が続いています。年齢別順位の1位は5才児の24名(21%)、2位は4才児の23名(20%)で他の月と傾向が異なります。3位はいつもは1位の1才児22名(19%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の44名(38%)、2位はインフルエンザの35名(30%)、3位は胃腸炎の8名(7%)でした。インフルエンザの内訳はA型;11名(31%)、B型;24名(69%)でB型が多い傾向が続いています。